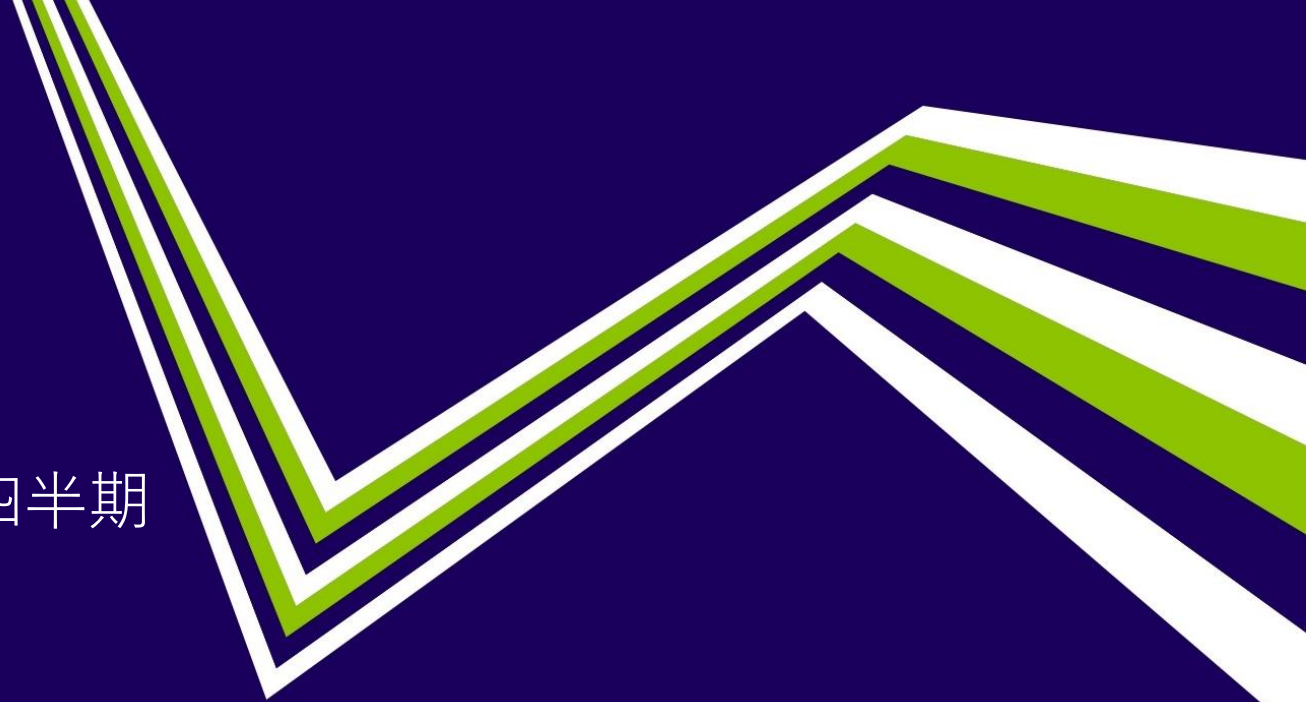




2024年12月期第3四半期 決算説明会資料

2024年11月12日

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
経営企画部 IR推進室

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. 2024年12月期第3四半期決算 | P.4～ |
| 2. 2024年12月期 業績予想 | P.13～ |
| 3. 経営計画2028 取り組み状況 | P.20～ |
| 4. 株主還元 | P.27～ |

2024年12月期第3四半期決算 エグゼクティブサマリー

2024年12月期 第3四半期実績

	実績	前年同期比
➡ 売上収益	19,002億円	+2,248億円 +13.4 %
➡ 連結セグメント利益 (事業利益)	437億円	△165億円 △27.5%
事業利益率	2.3%	-
➡ 営業利益	350億円	△163億円 △31.8%
➡ 親会社の所有者 に帰属する当期利益	184億円	△120億円 △39.5 %

✓ グローバルの物流需要は当期2Q以降、回復してきていることに加えて、今期よりカーゴパートナー（CP社）が加わったことにより増収となった。

✓ 利益面では、感染症関連物資の取扱い減少、人件費等のコスト増加の影響等により、事業利益以下の各利益は減益となったが、物流需要の回復に伴い、3Q単四半期では事業利益以下の各利益は増益に転じている。

※ ➡ は+5%以上の増加、➡ は-5%以上の減少、➡ は変化が±5%未満

2024年12月期業績予想 エグゼクティブサマリー

2024年12月期 業績予想

	今回予想	前年比
➡ 売上収益	25,700 億円	+3,309億円 +14.8%
↘ 連結セグメント利益 (事業利益)	700億円	△112億円 △13.9%
事業利益率	2.7%	-
➡ 営業利益	650 億円	+49 億円 +8.2 %
➡ 親会社の所有者 に帰属する当期利益	400 億円	+29 億円 +8.0 %
ROE	4.9%	+0.1 pt
ROIC (税引前事業利益)	4.5%	-1.1 pt

※ ➡ は+5%以上の増加、↘ は-5%以上の減少、➡ は変化が±5%未満

- ✓2024年12月期、通期の連結業績予想については、現時点での状況、見通しを総合的に勘案した結果、8月9日に公表した通期予想の売上収益および事業利益以下の各利益を据え置くこととした。
- ✓8月の台風影響や調整額の増加で3Qの事業利益は想定を下回ったが、物流需要は回復トレンドにあると捉えており、4Qの業績は想定通りになるものと見込む。
- ✓加えて、CP社の無形資産償却費は当初の見込みより減少し、3Qのビハインドを吸収する見込み。

1. 2024年12月期第3四半期決算
2. 2024年12月期 業績予想
3. 経営計画2028 取り組み状況
4. 株主還元

A. 2024年12月期第3四半期決算 概要	P.5-
B.売上収益・営業利益増減内訳	P.7-
C. 第3四半期 対 第2四半期	P.9-
D.事業別収支	P.11-

1-A. 2024年12月期第3四半期決算 概要

(単位：億円、%) (億円未満切捨て)

項目	今期実績 (2024年 1～9月)	前年実績 (2023年 1～9月)	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	今期 3Q単実績	前年 3Q単実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)
売上収益	19,002	16,753	2,248	13.4	6,503	5,434	1,068	19.7
連結セグメント利益 (事業利益)	437	603	△165	△27.5	182	181	1	0.8
事業利益率	2.3	3.6	-	-	2.8	3.3	-	-
営業利益	350	514	△163	△31.8	158	110	47	43.4
親会社の所有者に帰属する 当期利益	184	305	△120	△39.5	70	50	19	38.3

【参考】 cargo-partner社 1～9月実績(欧州内数、連結決算処理前の数値)：売上収益1,988億円、事業利益15億円

1-A. 2024年12月期第3四半期決算 概要

(単位：億円、%) (億円未満切捨て)

セグメント	項目	今期実績 (2024年1月～9月)	前年実績 (2023年1月～9月)	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)
日本	売上収益	9,283	9,433	△150	△1.6
	セグメント利益 (事業利益)	277	328	△51	△15.7
米州	売上収益	1,168	1,126	42	3.8
	セグメント利益 (事業利益)	40	73	△33	△45.7
欧州	売上収益	3,698	1,411	2,286	162.0
	セグメント利益 (事業利益)	91	75	16	21.6
東アジア	売上収益	1,267	1,151	116	10.1
	セグメント利益 (事業利益)	28	32	△3	△9.9
南アジア・オセアニア	売上収益	1,157	1,063	94	8.9
	セグメント利益 (事業利益)	35	69	△34	△49.1
海外セグメント合計	売上収益	7,293	4,752	2,540	53.5
	セグメント利益 (事業利益)	196	250	△54	△21.8
警備輸送	売上収益	514	507	6	1.4
	セグメント利益 (事業利益)	21	31	△9	△31.5
重量品建設	売上収益	364	398	△34	△8.5
	セグメント利益 (事業利益)	33	49	△16	△32.9
物流サポート	売上収益	3,040	3,109	△68	△2.2
	セグメント利益 (事業利益)	79	96	△17	△17.7

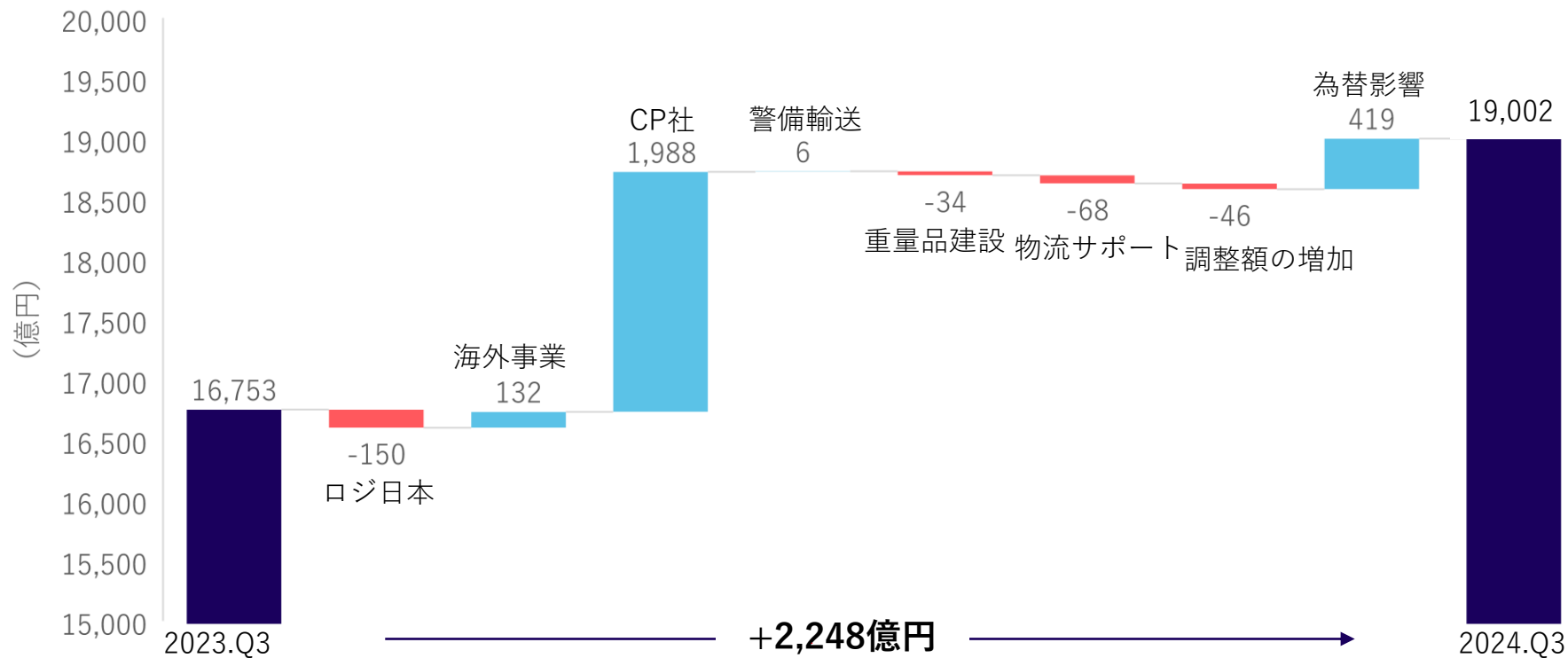
【参考】 cargo-partner社 1～9月実績(欧州内数、連結決算処理前の数値)：売上収益1,988億円、事業利益15億円

※海外売上収益はセグメント間消去前の数値を記載。

1-B.売上収益・営業利益増減内訳

売上収益

✓ 当期2Q以降からのグローバル物流需要の回復、CP社の連結化および円安により増収。



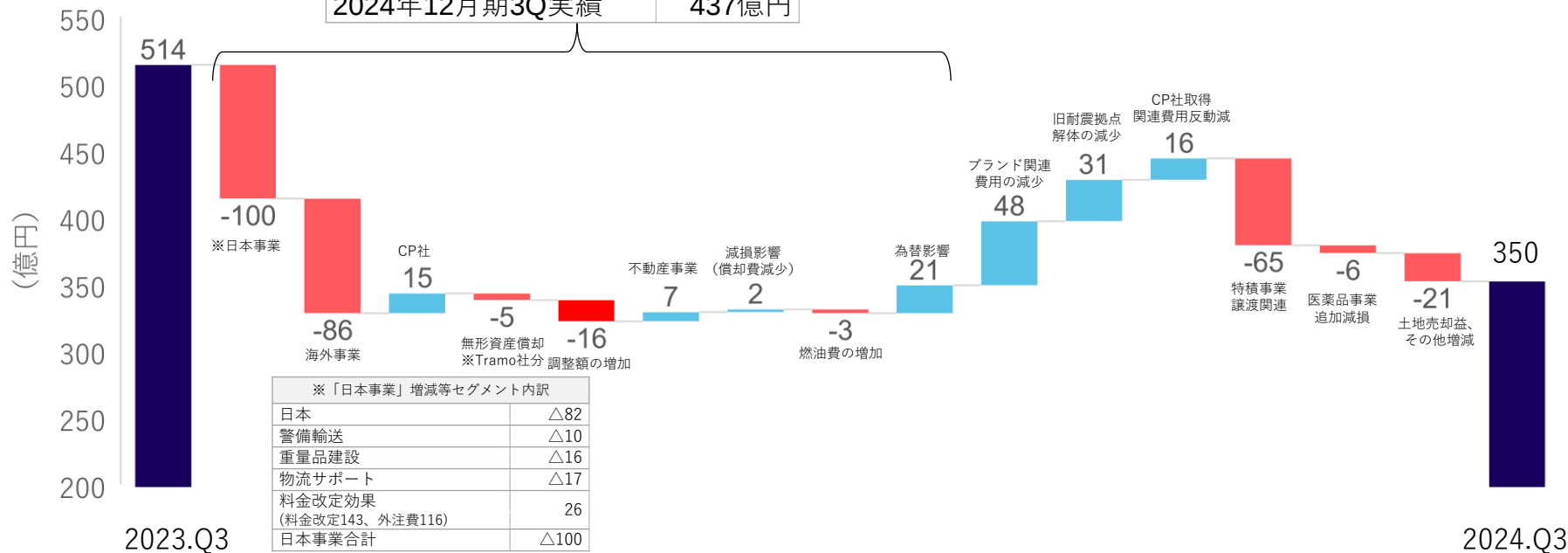
1-B.売上収益・営業利益増減内訳

営業利益

- ✓ 感染症関連物資の取扱い減少、人件費等のコスト増加の影響により、ロジ事業は日本・海外共に減益。
- ✓ 1Qにおいて、特積事業の譲渡に伴う減損損失（65億円）を計上。

事業利益△165億円

事業利益	
2023年12月期3Q実績	603億円
2024年12月期3Q実績	437億円



1-C. 2024年12月期第3四半期決算 第3四半期 対 第2四半期

(単位：億円、%) (億円未満切捨て)

項目	2024年 3Q実績	2024年 2Q実績	増減額	増減率
売上収益	6,503	6,322	180	2.8
連結セグメント利益 (事業利益)	182	136	46	33.9
事業利益率	2.8	2.2	-	-
営業利益	158	157	1	0.7
親会社の所有者に帰属する 当期利益	70	106	△36	△33.9

1-C. 2024年12月期第3四半期決算 第3四半期 対 第2四半期（セグメント別）

（単位：億円、％）（億円未満切捨て）

セグメント	項目	2024年3Q実績	2024年 2 Q実績	増減額	増減率
日本	売上収益	3,159	3,069	90	2.9
	セグメント利益（事業利益）	121	92	29	31.5
米州	売上収益	385	413	△ 28	△ 7.0
	セグメント利益（事業利益）	13	16	△ 2	△ 17.7
欧州	売上収益	1,324	1,244	79	6.4
	セグメント利益（事業利益）	39	20	19	96.1
東アジア	売上収益	450	444	6	1.4
	セグメント利益（事業利益）	15	9	5	64.6
南アジア・オセアニア	売上収益	433	377	56	15.0
	セグメント利益（事業利益）	15	10	4	46.6
海外セグメント合計	売上収益	2,593	2,479	113	4.6
	セグメント利益（事業利益）	83	56	27	48.9
警備輸送	売上収益	170	168	1	0.7
	セグメント利益（事業利益）	4	3	0	27.7
重量品建設	売上収益	136	122	13	11.4
	セグメント利益（事業利益）	16	8	8	92.5
物流サポート	売上収益	977	983	△ 6	△ 0.7
	セグメント利益（事業利益）	26	28	△ 1	△ 6.4
調整額	売上収益	△532	△501	△ 31	-
	セグメント利益（事業利益）	△70	△52	△ 17	-

※海外売上収益はセグメント間消去前の数値を記載。

1-D. 事業別収支

(単位：億円) (億円未満切捨て)

セグメント			1Q	2Q	3Q	3Q累計	3Q 対 2Q	
ロジ 日本	航空FWD	売上高	447	444	490	1,382	46	
		営業利益	30	17	40	88	22	
	海運FWD	売上高	398	442	467	1,309	25	
		営業利益	30	44	43	118	▲ 1	
	ロジスティクス	売上高	2,454	2,336	2,366	7,158	29	
		営業利益	82	52	52	187	▲ 0	
	その他 (本社組織,不動産等)	売上高	25	38	26	90	▲ 12	
		営業利益	▲ 68	▲ 73	▲ 70	▲ 212	2	
	組織別実績計 (日本基準)		売上高	3,327	3,262	3,351	9,941	89
			営業利益	74	41	65	182	24
連結決算数値 (IFRS基準)		売上収益	3,054	3,069	3,159	9,283	90	
		セグメント利益	63	92	121	277	29	
ロジ 海外	航空FWD	売上高	547	628	630	1,806	2	
		営業利益	28	29	40	98	10	
	海運FWD	売上高	362	410	455	1,229	44	
		営業利益	11	17	20	48	3	
	ロジスティクス	売上高	741	788	767	2,298	▲ 21	
		営業利益	48	50	51	151	1	
	その他 (本社組織等)	売上高	51	51	50	152	▲ 1	
		営業利益	▲ 46	▲ 45	▲ 51	▲ 143	▲ 5	
	cargo-partner社	売上高	770	916	942	2,630	25	
		営業利益	1	5	3	10	▲ 1	
組織別実績計 (各国基準)		売上高	2,474	2,796	2,846	8,117	49	
		営業利益	43	56	64	165	8	
連結決算数値 (IFRS基準)		売上収益	2,220	2,479	2,593	7,293	113	
		セグメント利益	56	56	83	196	27	
ロジ 計 (各国基準)		売上高	5,801	6,058	6,197	18,058	138	
		営業利益	118	98	130	347	32	
連結決算数値 (IFRS基準)		売上収益	5,275	5,549	5,752	16,576	203	
		セグメント利益	119	148	204	473	56	

四半期トレンド分析 (ロジ日本)

航空：数量増加と粗利指数の改善があり、輸出が大きく増収・増益。
輸入は半導体関連の増勢もあり、数量がやや伸びて増収・増益。

海運：海外引越は季節波動で減収・減益となり、全体では増収、営業利益は横ばい。
粗利指数の改善によりコマーシャル扱いは増収・増益。

ロジ：自動車事業における飲料扱いの増加、新規案件獲得による倉庫収入の増加により、増収。
一方、8月の台風影響により、営業利益は横ばい。

ロジ日本：17億円の増益予想に対して、さらに11億円の不振。

四半期トレンド分析 (ロジ海外)

航空：数量は増加したが、価格競争による販売単価の低下が一部に見られ、粗利単価は低下。
粗利額は2Q並となったが、東アジアでの外注費等のコストダウン取組効果等により、
営業利益は10億円程度の増益。

海運：数量はQonQで増加、粗利単価も改善し、増収・増益。

ロジ：米州で自動車関連の取扱削減に加え、取扱拡大は南アジア等の一部リージョンに
留まり、減収。営業利益は横ばい。

C P：香港・中国発のeコマース関連の取扱いが好調を維持し、数量増で増収、営業利益は横ばい。

ロジ海外：28億円の増益予想に対して、ほぼ想定した水準。

※当資料の作成注記については、次ページ (P12) に記載しております。

1-D.事業別収支

(単位：億円) (億円未満切捨て)

セグメント			1 Q	2 Q	3 Q	3Q累計	3Q 対 2Q
米州	航空FWD	売上高	99	112	103	315	▲ 9
		営業利益	2	3	4	10	0
	海運FWD	売上高	72	81	74	228	▲ 7
		営業利益	1	2	2	5	0
	ロジスティクス	売上高	217	229	210	658	▲ 19
		営業利益	7	11	13	31	1
	その他 (本社組織等)	売上高	0	0	0	0	0
		営業利益	▲ 1	▲ 2	▲ 2	▲ 6	▲ 0
		売上高	389	424	388	1,203	▲ 36
		営業利益	8	15	17	41	2
欧州	航空FWD	売上高	158	167	158	484	▲ 8
		営業利益	5	3	4	12	1
	海運FWD	売上高	95	100	124	320	24
		営業利益	▲ 4	▲ 3	▲ 1	▲ 8	1
	ロジスティクス	売上高	280	300	292	873	▲ 7
		営業利益	28	24	22	74	▲ 2
	その他 (本社組織等)	売上高	39	39	38	117	▲ 0
		営業利益	▲ 7	▲ 4	▲ 7	▲ 18	▲ 2
		売上高	574	607	614	1,795	7
		営業利益	21	20	17	59	▲ 2

◆作成注記

※当資料は当社グループ各法人もしくは店所単位で、その主たる取扱い（航空・海運・ロジスティクス・その他）に応じて区分、集計したもの。

※ロジ日本の「ロジスティクス」には国内航空および内航海運を含んでいる。

※店所単位で共通費用等について簡便な方法で費用案分を行っている場合もあるが、それらについて詳細な修正を行っていない。

セグメント			1 Q	2 Q	3 Q	3Q累計	3Q 対 2Q
東アジア	航空FWD	売上高	148	184	183	516	▲ 1
		営業利益	8	9	16	34	7
	海運FWD	売上高	104	132	142	378	9
		営業利益	4	6	7	18	0
	ロジスティクス	売上高	131	141	136	409	▲ 5
		営業利益	5	6	7	19	0
	その他（本社組織等）	売上高	0	0	0	0	0
		営業利益	▲ 15	▲ 15	▲ 17	▲ 47	▲ 2
		売上高	384	458	461	1,304	2
	営業利益	2	8	13	24	5	
南アジア・オセアニア	航空FWD	売上高	140	163	185	489	21
		営業利益	12	12	14	40	2
	海運FWD	売上高	90	96	113	301	17
		営業利益	9	11	12	33	1
	ロジスティクス	売上高	112	116	127	357	11
		営業利益	7	7	9	25	1
	その他（本社組織等）	売上高	11	12	11	35	▲ 0
		営業利益	▲ 21	▲ 23	▲ 24	▲ 69	▲ 0
		売上高	355	388	438	1,183	49
	営業利益	8	7	12	29	4	
cargo-partner社	売上高	770	916	942	2,630	25	
	営業利益	1	5	3	10	▲ 1	
ロジ海外 計	売上高	2,474	2,796	2,846	8,117	49	
	営業利益	43	56	64	165	8	

1. 2024年12月期第3四半期決算
2. 2024年12月期 業績予想
3. 経営計画2028 取り組み状況
4. 株主還元

A.2024年12月期業績予想	P.14-
B.2024年12月期業績予想（第4四半期 対 第3四半期）	P.16-
C.売上収益・営業利益増減内訳	P.18-

2-A. 2024年12月期業績予想 通期予想

(単位：億円、%) (億円未満切捨て)

項目	通期予想	前年 通期実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	前回通期予想 (8/9発表)	増減額 (前回比)	増減率 (前回比)
売上収益	25,700	22,390	3,309	14.8	25,700	-	-
セグメント利益 (事業利益)	700	812	△112	△13.9	700	-	-
事業利益率	2.7	3.6	-	-	2.7	-	-
営業利益	650	600	49	8.2	650	-	-
親会社の所有者に帰する 当期利益	400	370	29	8.0	400	-	-
海外売上収益	9,980	6,424	3,555	55.3	9,870	110	1.1
ROE	4.9	4.8	-	-	4.9	-	-
ROIC (税引前事業利益)	4.5	5.6	-	-	4.5	-	-

※海外売上収益はセグメント間消去前の数値を記載。

【参考】 cargo-partner社通期予想(欧州内数、連結決算処理前の数値)：売上収益2,726億円、事業利益29億円（無形資産償却（約2億円、4 Q計上予定）を除く）

2-A. 2024年12月期業績予想 セグメント別

(単位：億円、%) (億円未満切捨て)

セグメント	項目	通期予想	前年実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	前回予想 (8/9発表)	増減額 (前回比)	増減率 (前回比)
日本	売上収益	12,520	12,565	△ 45	△ 0.4	12,330	190	1.5
	セグメント利益 (事業利益)	435	485	△ 50	△ 10.5	420	15	3.6
米州	売上収益	1,550	1,512	37	2.5	1,640	△ 90	△ 5.5
	セグメント利益 (事業利益)	60	92	△ 32	△ 35.2	75	△ 15	△ 20.0
欧州	売上収益	4,990	1,926	3,063	159.0	4,780	210	4.4
	セグメント利益 (事業利益)	130	98	31	31.9	85	45	52.9
東アジア	売上収益	1,810	1,576	233	14.8	1,850	△ 40	△ 2.2
	セグメント利益 (事業利益)	50	37	12	32.9	35	15	42.9
南アジア・オセアニア	売上収益	1,630	1,408	221	15.7	1,600	30	1.9
	セグメント利益 (事業利益)	60	83	△ 23	△ 28.1	65	△ 5	△ 7.7
海外セグメント合計	売上収益	9,980	6,424	3,555	55.3	9,870	110	1.1
	セグメント利益 (事業利益)	300	312	△ 12	△ 3.9	260	40	15.4
警備輸送	売上収益	680	678	1	0.2	680	-	-
	セグメント利益 (事業利益)	25	33	△ 8	△ 26.2	30	△ 5	△ 16.7
重量品建設	売上収益	490	511	△ 21	△ 4.1	500	△ 10	△ 2.0
	セグメント利益 (事業利益)	55	65	△ 10	△ 15.6	60	△ 5	△ 8.3
物流サポート	売上収益	4,140	4,258	△ 118	△ 2.8	4,260	△ 120	△ 2.8
	セグメント利益 (事業利益)	120	138	△ 18	△ 13.3	120	-	-

※海外売上収益はセグメント間消去前の数値を記載。

【参考】 cargo-partner社通期予想(欧州内数、連結決算処理前の数値)：売上収益2,726億円、事業利益29億円（無形資産償却（約2億円、4 Q計上予定）を除く）

2-B. 2024年12月期業績予想（第4四半期 対 第3四半期）

（単位：億円、％）（億円未満切捨て）

項目	4Q予想	3Q実績	増減額	増減率
売上収益	6,697	6,503	194	3.0
セグメント利益 （事業利益）	262	182	79	43.5
事業利益率	3.9	2.8	-	-
営業利益	299	158	140	88.6
親会社の所有者に帰する 当期利益	215	70	145	207.1
海外売上収益	2,686	2,593	93	3.6

※海外売上収益はセグメント間消去前の数値を記載。

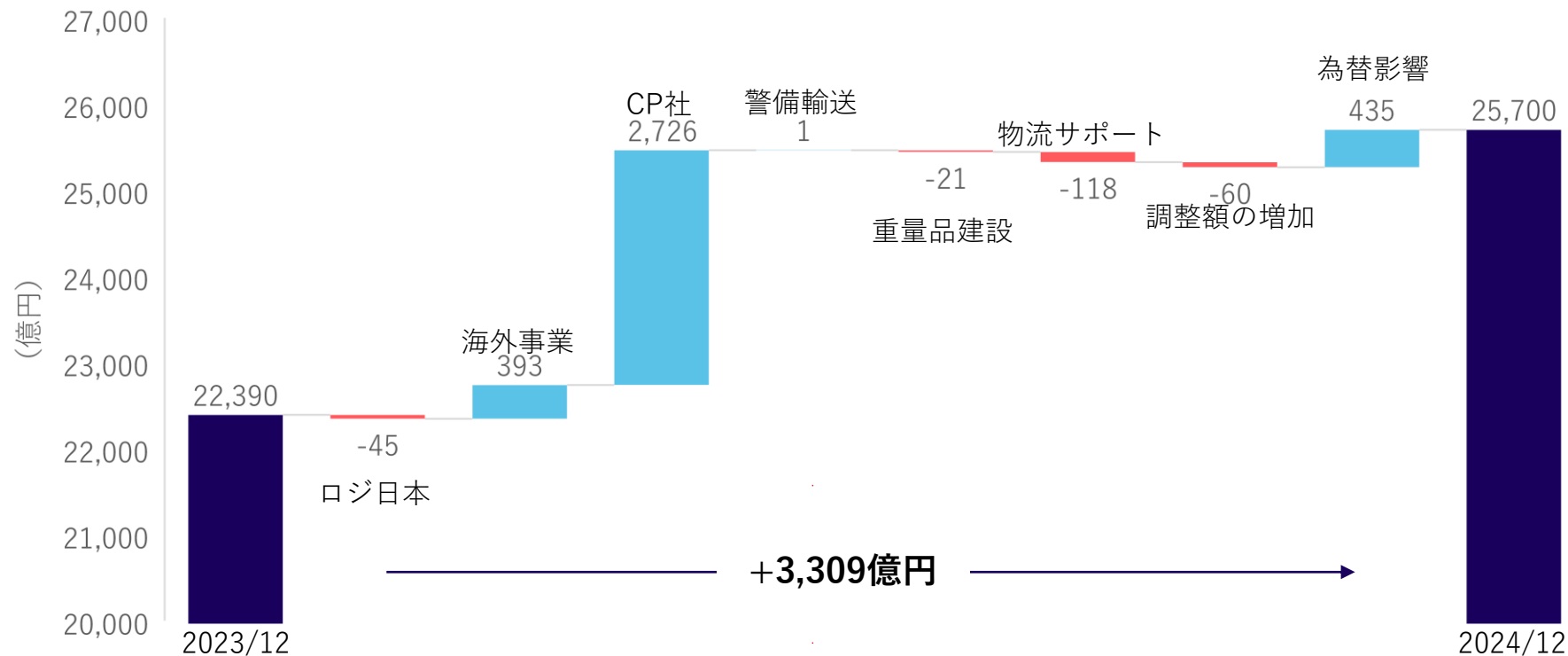
2-B. 2024年12月期業績予想（第4四半期 対 第3四半期） セグメント別

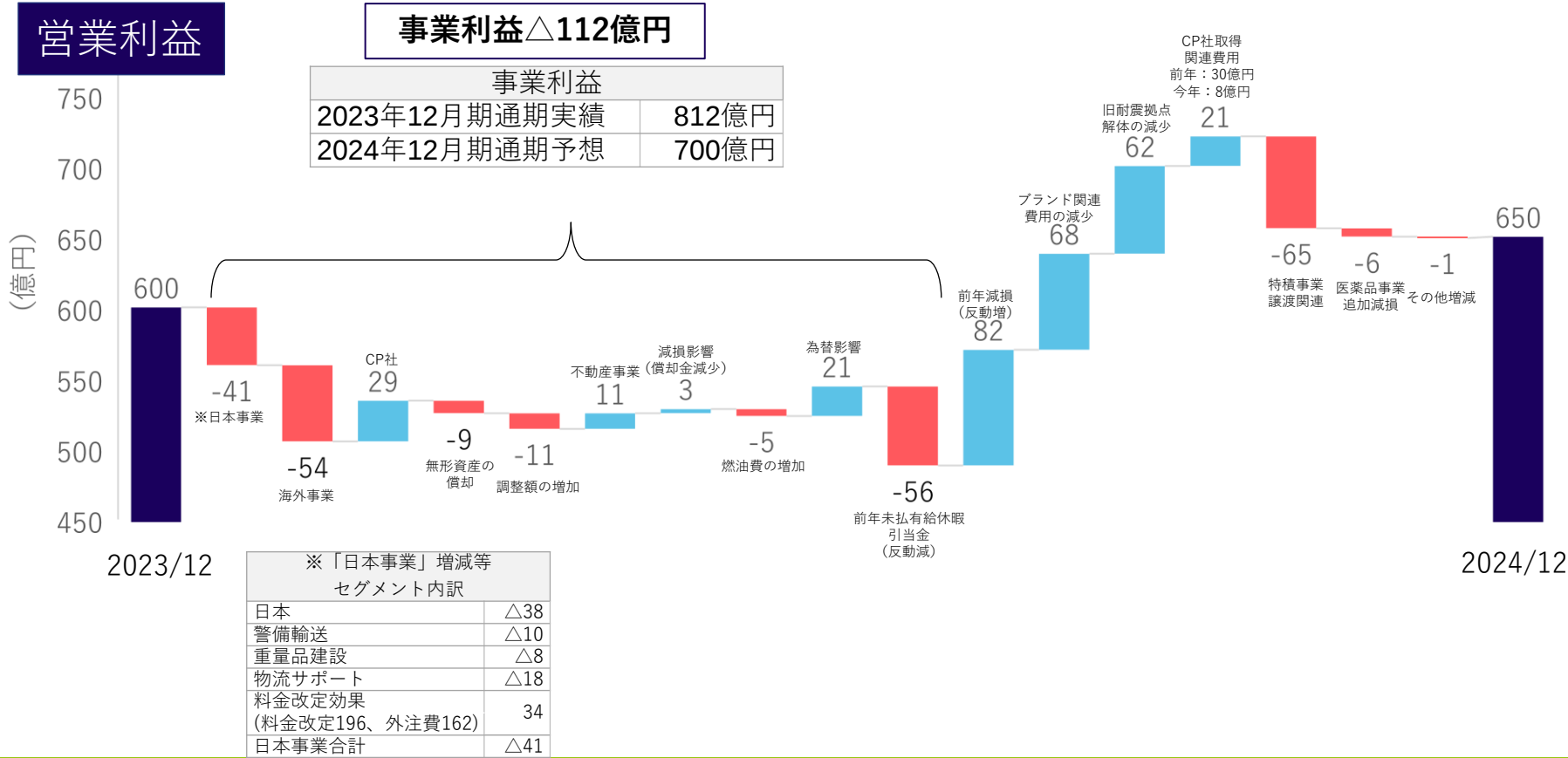
(単位：億円、%) (億円未満切捨て)

セグメント	項目	4Q予想	3Q実績	増減額	増減率
日本	売上収益	3,236	3,159	77	2.5
	セグメント利益（事業利益）	157	121	36	29.8
米州	売上収益	381	385	△ 3	△ 1.0
	セグメント利益（事業利益）	19	13	6	49.4
欧州	売上収益	1,291	1,324	△ 32	△ 2.5
	セグメント利益（事業利益）	38	39	△ 1	△ 3.8
東アジア	売上収益	542	450	91	20.4
	セグメント利益（事業利益）	21	15	5	39.4
南アジア・オセアニア	売上収益	472	433	38	8.9
	セグメント利益（事業利益）	24	15	9	62.9
海外セグメント合計	売上収益	2,686	2,593	93	3.6
	セグメント利益（事業利益）	103	83	20	24.6
警備輸送	売上収益	165	170	△ 4	△ 2.9
	セグメント利益（事業利益）	3	4	△ 0	△ 12.1
重量品建設	売上収益	125	136	△ 10	△ 8.0
	セグメント利益（事業利益）	21	16	5	29.9
物流サポート	売上収益	1,099	977	122	12.5
	セグメント利益（事業利益）	40	26	13	51.7
調整額	売上収益	△ 615	△ 532	△ 82	-
	セグメント利益（事業利益）	△ 65	△ 70	4	-

※海外売上収益はセグメント間消去前の数値を記載。

売上収益





1. 2024年12月期第3四半期決算
2. 2024年12月期 業績予想
3. 経営計画2028 取り組み状況
4. 株主還元

A.経営計画2028 基本方針	P.21
B.グローバル事業の成長：重点産業	P.22
C.グローバル事業の成長：主なKPI・施策	P.23
D.日本事業の再構築	P.24
E.経営計画達成に向けた主な取り組み	P.25
F.（参考情報）SH HoldCo GmbH社概要	P.26

3-A.経営計画2028 基本方針

経営計画2028における基本方針・重要戦略

基本 方針

- グループ全体最適志向の下、グローバルな競争力の向上と事業の成長を実現する。
- 明確な事業ポートフォリオと役割分担のもと、事業の競争力・収益性を高め、企業価値を高める。
- 社会課題解決や持続可能社会の実現へ貢献するサステナビリティ経営を実践し、顧客・社会・株主・社員から選ばれる企業グループへ変革する。

売上 収益

FY2023 22,390億円
FY2028 30,000億円

事業 利益

FY2023 812億円
FY2028 1,500億円

ROE

FY2023 4.8%
FY2028 10%以上

グローバル市場での
事業成長の加速

海外 売上

FY2023 5,855億円
FY2028 12,000億円
M&A 3,700億円

日本事業の再構築

サステナビリティ
経営の推進

事業 利益率

FY2023 3.9%
FY2028 5.9%
(ロジスティクス日本)

3-B. グローバル事業の成長 重点産業

(億円未満切捨て)

重点産業	2024年 1月～9月 実績	2024年目標	対目標進捗率	2028年目標
テクノロジー 基盤領域：電機電子 成長、挑戦領域：産業用機械	2,267億円	3,295 億円	68.8%	4,000 億円
モビリティ 基盤領域：自動車 成長、挑戦領域：建機、農機、鉄道、航空機	1,960億円	2,260 億円	86.7%	2,600 億円
ライフスタイル 基盤領域：アパレル 成長、挑戦領域：家具、装飾品、コスメティクス	1,136億円	1,295 億円	87.8%	1,600 億円
ヘルスケア 成長、挑戦領域：医薬品、医療機器	790億円	945 億円	83.6%	1,300 億円
半導体 成長、挑戦領域：半導体	426億円	516 億円	82.6%	1,000 億円

※実績：日本通運㈱、海外4リージョン合計（CP社、Tramo社は除く）
※2024年12月期第2四半期決算説明会資料2024年1月～6月半導体実績：数値修正（正）269億円 （訂正前）260億円
※2024年12月期第2四半期決算説明会資料2024年1月～6月半導体対目標進捗率：数値修正（正）52.2% （訂正前）50.4%

3-C. グローバル事業の成長 主なKPI・施策

フォワーディングの拡販	2024年 1月～9月実績	2023年 1月～9月実績	前年対比増減率	2028年目標
航空フォワーディング数量	68.0万 t	51.3万 t	32.6%	130万 t
海運フォワーディング数量	66.9万TEU	53.6万TEU	24.7%	140万TEU

※フォワーディングの拡販実績（2023年1月～9月）にはCP社は含まない。

※2024年12月期第2四半期決算説明会資料 2024年1月～6月航空フォワーディング数量

前年対比増減率：数値訂正（正）29.2%（訂正前）36.4%

※CP社含まない前年対比増減率：航空フォワーディング+7.0%
海運フォワーディング+1.7%

（内数）cargo-partner社	2024年 1月～9月実績	2023年 1月～9月実績 （参考値）	前年対比増減率
航空フォワーディング数量	13.1万 t	10.2万 t	28.8%
海運フォワーディング数量	12.3万TEU	12.8万TEU	△3.8%

（億円未満切捨て）

ロジスティクスソリューションの提供強化	2024年 1月～9月実績	2023年 1月～9月実績	前年対比増減率	2028年目標
倉庫・配送等売上	3,549億円	3,445億円	3.0%	5,900億円

※倉庫配送等売上にはCP社は含まない。

3-D. 日本事業の再構築

KPI: 日本ロジセグメントの
事業利益率の改善 (3.9%→5.9%)

顧客志向の強い企業への変革
(売上拡大)

【日本事業強靱化の継続・深化】

- ・ 事業の専門性強化
- ・ 事業の変革・入れ替え
- ・ 業務の生産性向上

継続的な事業基盤の変革・見直し
(社内カンパニー制の導入検討他)

【アカウントマネジメント体制の構築】

- ・ 44社のアカウント事業所の専業体制を構築
- ・ 2025年1月までに専業体制強化を予定 (44社 → 85社)

【倉庫オペレーションの品質・生産性向上の推進】

- ・ Logistics boot camp : 生産性向上を推進する中核人材育成プログラム。今年度受講者 : 19名
- ・ Logistics Academy : 物流センター管理者の育成プログラム。今年度受講者 : 75名

【料金改定 (2024年度第3Q累計実績)】

- ・ 日本ロジ売上 : 141億円 (グループ売上計 : 143億円) 前同を大きく上回った。

【社有戦力の最大限活用と外注費率の削減 (2024年度第3Q累計実績)】

- ・ 社有車の稼働率 : 対前同△0.6ポイント
※稼働率の低下は営業日数減等の影響によるもので、実態は前年と同水準と分析。
- ・ 外注費率 : 40.8% (対前年△1.0%)
※フォワーディング事業による販売単価影響等を除いた外注費率は△1ポイント程度の低減となり、コストコントロールは機能している

【ITツール活用・DXを含む、徹底した効率化】

- ・ RPAの稼働時間目標 : 120,000時間/月 (月平均)
2024年度第3Q累計実績 : 117,620時間/月 (月平均)
※参考 (2024年度3Q実績) : 120,559時間/月 (平均)

【社内カンパニー制の導入 (2025年1月予定)】

3-E. 経営計画達成に向けた主な取り組み

■グローバル市場での事業成長の加速

- ・ アカウントマネジメントを起点としたEnd to Endソリューションの拡大
- ・ cargo-partner社へのPMI実施
- ・ SH HoldCo GmbH社（Simon Hegele 社）の買収（2025年1Q実行予定）
- ・ インド市場での存在感の確立

■日本事業の再構築

- ・ 社内カンパニー制の導入（2025年1月予定）
- ・ 重量品建設事業の分社化（2025年1月予定）

■資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取組み

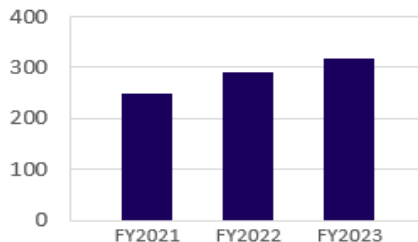
- ・ キャッシュアロケーションを含めた企業価値向上に向けた取組に関するPDCA検討

3-F. (参考情報) SH HoldCo GmbH社概要

会社概要

名称	SH HoldCo GmbH
設立年	1920年 ⁽¹⁾
所在地	Karlsruhe (ドイツ)
代表者	Stefan Ulrich
事業内容	医療機器や産業小売分野のコントラクトロジスティクス（倉庫保管、輸送、組立・設置等）、医薬品の超低温物流
主要事業展開地域	欧州・米州
拠点数	58（倉庫・オフィス） ⁽²⁾
売上高推移 ⁽³⁾	

（百万ユーロ）



(1) 創業時の会社の設立年 (2) グループ会社計 (3) SH HoldCo GmbHの連結財務数値

事業概要

ヘルスケア分野



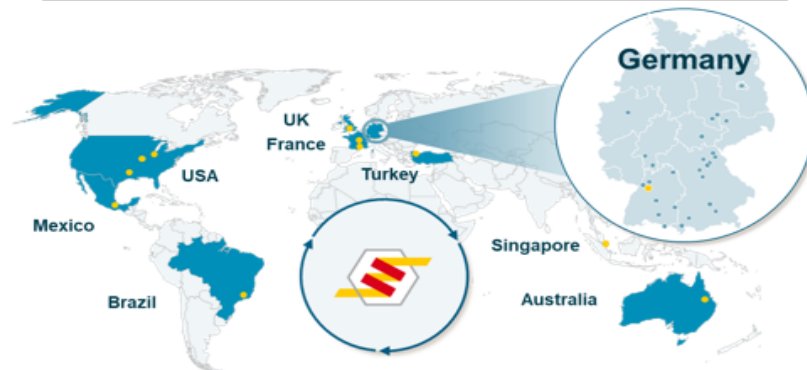
- 大型医療機器のライフサイクルに沿った物流ソリューション
- プロジェクト管理、医療機器の保管から配送先での組立・設置までの各種付加価値サービス
- GDPに対応した医薬品の低温物流サービス

産業・小売分野



- 調達・生産物流、アフターマーケット物流、梱包、品質チェック、組立、通関サポート、返品管理などの各種サービス
- 庫内や配送先での技術支援を含む保守部品物流

拠 点



1. 2024年12月期第3四半期決算
2. 2024年12月期 業績予想
3. 経営計画2028 取り組み状況
4. 株主還元

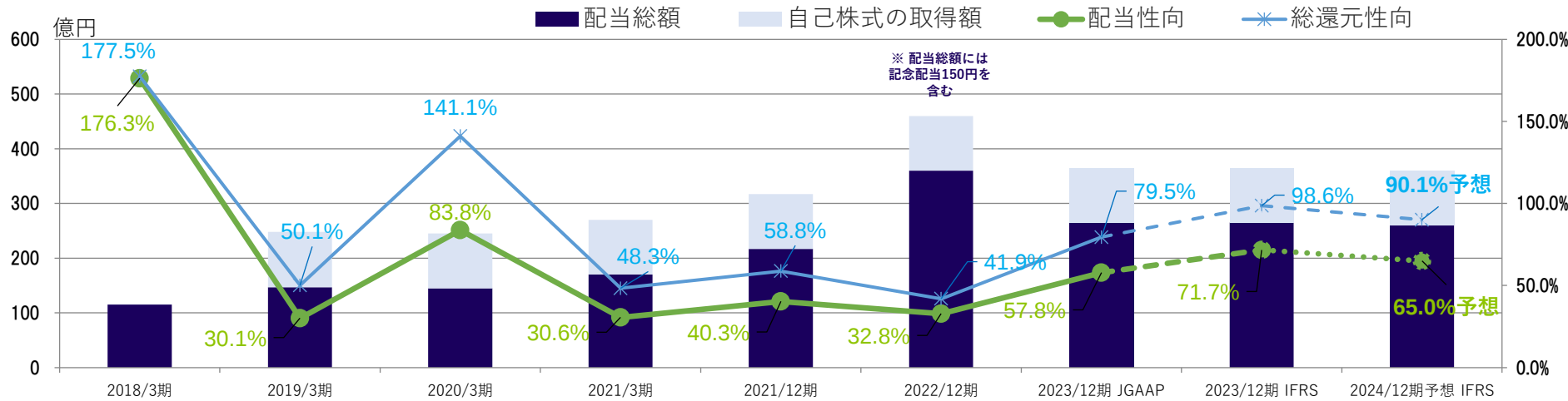
資本政策・各種実績推移

P.28

4. 資本政策・各種実績推移

経営計画2028
目標数値

- ROE 10%以上
- 総還元性向 55%以上（2024～2028年度累計）
- 配当性向 40%以上
- 自己資本比率 35%程度



1株あたり配当額（年間）	120	155	155	185	240	400 （記念配当150円含む）	300	300
ROE	1.2 （日本基準）	9.2 （日本基準）	3.2 （日本基準）	10.0 （日本基準）	8.9 （日本基準）	15.9 （日本基準）	5.9/4.8 （日本基準/IFRS）	4.9 （IFRS基準）

※ IFRS基準でのROEと日本基準の差異は、IFRSでは有価証券売却益がPL非計上となることが主な要因です。



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。
万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、
弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。